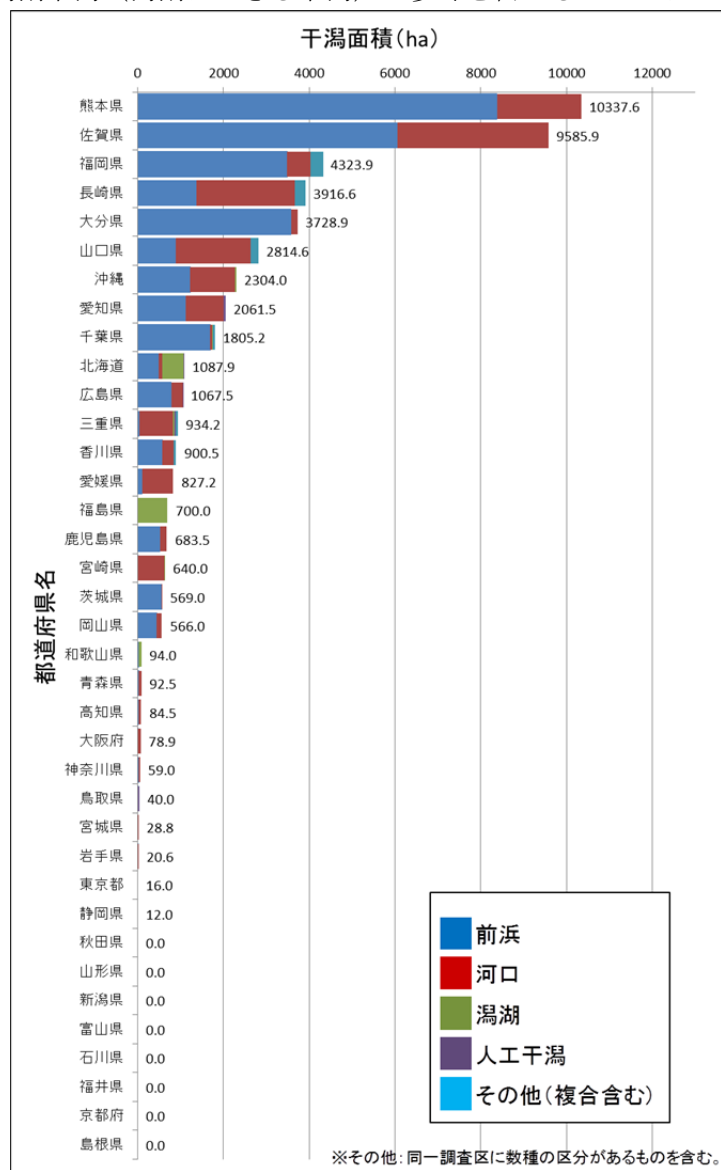


● 干潟の分布面積と構成比（震災前）

干潟とは、干潮時に露出する砂泥底のことです。干潟には陸上から栄養塩類や動物の餌となる有機物が豊富に供給され、生物の貴重な生息の場となっています。

環境省が全国 37 都府県で実施した「第 5 回自然環境基礎調査（海辺調査）」（平成 10 年 3 月）によると、干潟の分布面積の大きさは 1 位～5 位までを九州地方が占めております。東北地方は、福島県 15 位、青森県 21 位、宮城県 26 位、岩手県 27 位となっています。秋田県、山形県は自然環境基礎調査では一度も干潟が確認されておられません。

干潟の構成比は、全国的に見て前浜干潟（海岸線にできる干潟）や河口干潟（穏やかな流れの河口内で、潮位差の影響を受けてできる干潟）が多く占めることがわかります。東北は、福島県で潟湖干潟（潟湖にできる干潟）が多くを占めることがわかります。



全国の干潟の分布面積

（※第 5 回自然環境保全基礎調査結果を元にグラフを作成）

生物多様性センターHP <http://www.biodic.go.jp/>

（第 5 回自然環境保全基礎調査より）